

HAMAMATSU

PHOTON IS OUR BUSINESS

第64期 中間報告書

平成22年10月1日から平成23年3月31日まで

証券コード：6965

浜松ホトニクス株式会社



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度の震災により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

ここに、第64期中間期（平成22年10月1日から平成23年3月31日）における中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、海外経済の改善などを背景に輸出や設備投資が持ち直しの動きを見せるなど、緩やかな回復基調で推移しておりましたが、3月11日に東日本大震災が発生し、多くの尊い人命を奪い、企業にも甚大な被害を与えております。

このような状況におきまして、当社グループは、長年培った独自の光技術を用いた基礎研究を推進する一方、製品開発を迅速に展開しアジアを中心とした新興国における新規需要の一層の取り込みを図るとともに、経営の効率化及び経費の削減に努めることで、売上高、利益の確保に努力してまいりました。

当中間期における当社グループの業績につきましては、連結売上高は51,545百万円と前年同期に比べ8,020百万円（18.4%）の増加となりました。また、利益面につきましても、連結経常利益は11,572百万円と前年同期に比べ4,715百万円（68.8%）増加し、連結中間純利益につきましても6,938百万円と前年同期に比べ2,054百万円（42.1%）の増加となり、増収増益となりました。

なお、通期の業績見通しにつきましては、売上高102,200百万円、経常利益21,200百万円、当期純利益13,200百万円を見込んでおります。

当社グループにおきましては、株主の皆様からの力強いご支援により、リーマンショック以前の勢いを取り戻し、中間期における過去最高の売上げを達成することができました。一方、後半期につきましては、引続き好調なアジア経済に牽引された形の世界経済の中、順調な売上げが期待されておりました。しかし、未曽有の東日本大震災のため、需要と供給の両面におきまして若干の不透明感が出てきております。当社グループにおける災害からの直接的被害は軽微でありましたが、改めて、これまで以上にリスクマネジメントに力を入れて取組んでいく所存でございます。

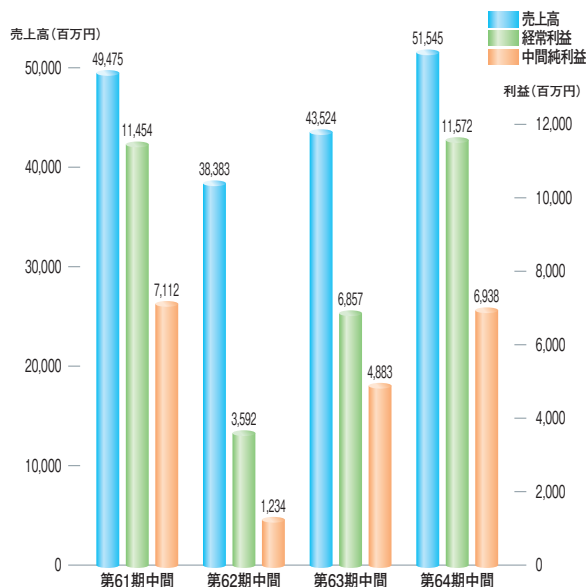
そして、この災害からの復興に、国を挙げての取組みを期待するとともに、復興、そして日本再生に寄与することが、今企業が果たすべき社会的責任と考える次第であります。そのような中、当社グループといたしましても、光の未知なる可能性を追求して、新しいシーズ技術の研究開発、そして産業応用の開拓を目指し、全社の力を集結した企画プロジェクトに注力してまいる所存でございます。

株主の皆様におかれましては、これまで以上のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

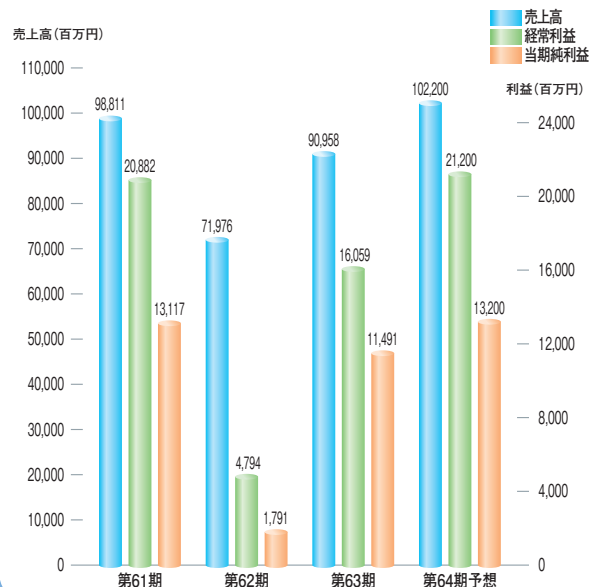
平成23年6月

代表取締役社長
書馬 明

中間連結売上高・利益の推移



連結業績の推移

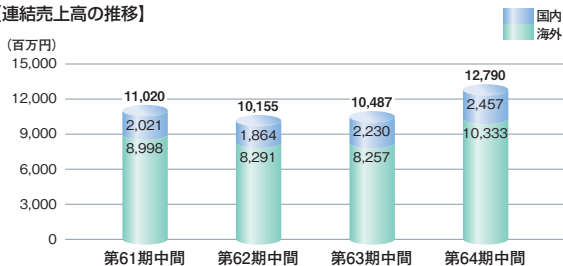


光電子増倍管

電子管事業

光電子増倍管は、PET装置及びガンカメラ等の核医学検査装置メーカーにおける北米や欧州に加えアジア地域の需要が顕著に増加したことにより、好調に売上げを伸ばしました。また、血液分析などの検体検査装置向けの光電子増倍管の売上げも順調に増加したほか、油田探査装置向けの売上げも増加するなど、光電子増倍管といたしましては、売上高は12,790百万円と前年同期に比べ22.0%の増加となりました。

【連結売上高の推移】



▲血液検査向け光電子増倍管



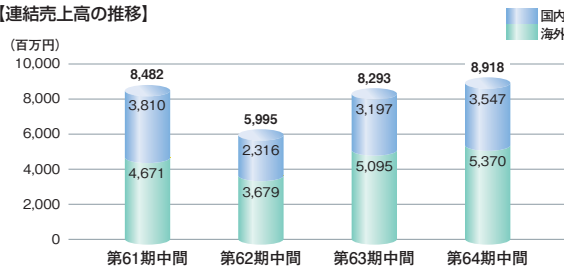
売上高比率 **24.8%**

イメージ機器及び光源

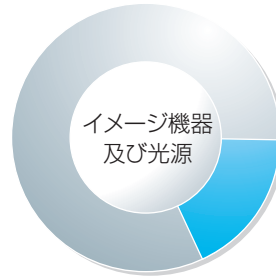
電子管事業

イメージ機器及び光源は、X線画像を可視像に変換するX線シンチレータが、歯科口腔内及び胸部のX線撮影等の医用分野において、売上げが順調に推移したほか、産業分野におきましても、X線非破壊検査装置用のマイクロフォーカスX線源の売上げが増加いたしました。さらに、環境分析等に用いられる重水素ランプの売上げも堅調に推移するなど、イメージ機器及び光源といたしましては、売上高は8,918百万円と前年同期に比べ7.5%の増加となりました。

【連結売上高の推移】



▲重水素ランプ



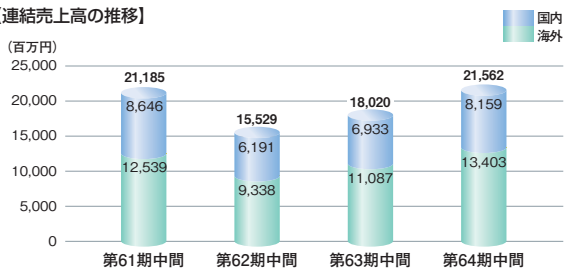
売上高比率 **17.3%**

光半導体素子

光半導体事業

光半導体素子は、主力のシリコンフォトダイオードが、医用分野における新興国向け需要の増加が寄与したこともあり引続き好調に推移したほか、イメージセンサにつきましても、特に欧州における歯科用のX線診断装置向けの需要が拡大し、売上げが増加いたしました。また、液晶テレビ等のバックライトに不可欠な白色LEDの検査装置に用いられる計測用CCDの売上げが増加するなど、光半導体素子といたしましては、海外を中心に医用機器及び産業機器向けの売上げが顕著に増加した結果、売上高は21,562百万円と前年同期に比べ19.7%の増加となりました。

【連結売上高の推移】



▲歯科用CCDイメージセンサ



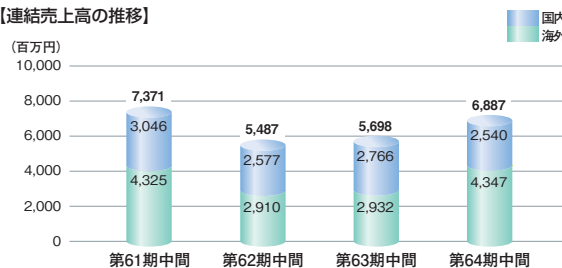
売上高比率 **41.8%**

画像処理・計測装置

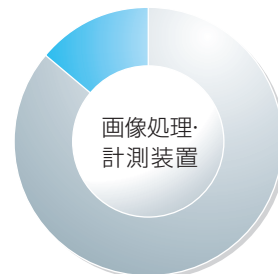
画像計測機器事業

画像処理・計測装置は、病理組織をデジタル画像で高精細に観察できるナノゾーマーの売上げは、世界的な競争激化等により減少いたしましたものの、半導体故障解析装置が国内外、特にアジア地域における需要拡大により売上げが増加いたしました。また、デジタルカメラがその高い性能を評価され、バイオ分野などの研究開発用途を中心に引続き売上げが増加したほか、分光計測・光計測装置も堅調に推移いたしました結果、画像処理・計測装置といたしましては、売上高は6,887百万円と前年同期に比べ20.9%の増加となりました。

【連結売上高の推移】



▲半導体故障解析装置



売上高比率 **13.4%**

中央研究所は、光の基礎研究・応用研究を目的として、当社が長年にわたり培ってきた独自の光技術を駆使し、バイオ、医療、情報、通信、エネルギー、物質、宇宙・天文、農業等の分野において、新しい知識、新しい産業の創造を目指した研究を進めております。

以下に、当中間期におけるその成果の一部をご紹介します。

テラヘルツ量子カスケードレーザ

半導体レーザの分野におきまして、テラヘルツ帯と呼ばれる波長領域における量子カスケードレーザの研究を進めております。テラヘルツ波は、電波と光波の両方の性質を併せ持ち、非破壊検査や、生体への安全性からX線に代わる医学分野での応用など、幅広い分野でその応用が期待されておりますが、未だその発生技術及び検出技術が開拓されていない周波数帯であります。

この度、当社は、独自に開発した間接注入励起構造により、テラヘルツ帯（ $77\mu\text{m}$ ）でのレーザ発振に成功いたしました。今後は、構造のさらなる最適化により、常温で動作できるテラヘルツ量子カスケードレーザの実現を目指してまいります。

携帯型近赤外線組織酸素モニタ装置『PocketNIRS（ポケットニルス）』

近赤外光が生体組織中を比較的良く透過することを利用して、脳組織や筋組織の酸素状態及びヘモグロビン濃度を、採血することなく体外から安全に測定することが、医療分野や脳研究分野において広く利用されております。しかしながら、従来の装置は、サイズが大きく、高価で、生体に装着するプローブが壊れ易い等の問題がありました。

当社ではこのような問題を解決し、新たな応用分野の拡大を目指した、携帯型近赤外線組織酸素モニタ装置『PocketNIRS（ポケットニルス）』を開発いたしました。本装置は、小型軽量化、プローブの改良、乾電池駆動等による高い携帯性を特徴とし、無線データ通信機能を搭載することで被検者の行動を制限することなく計測することを可能にいたしました。

今後は、脳と外部機器との間での情報交換を行うツール等の脳研究への応用、メンタルストレスの評価等、在宅での健康管理等への展開が期待されております。



PocketNIRSの外観



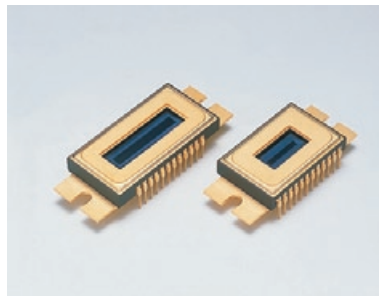
プローブの装着の様子

■ 白色LEDの製造工程で需要の拡大する裏面入射型CCD

当社の電子冷却タイプの裏面入射型CCDが、高輝度白色LEDの製造工程において、光学特性をインラインで検査する装置の検出素子として広く採用され、近年売上げを伸ばしております。

当社の裏面入射型CCDは蓄積部と転送部を共用したフルフレームトランスファ型構造とすることで受光部を100%取ることができ、効率良く光を検出できることから、高精度計測において優れた性能を発揮いたします。また、MEMS技術によりチップを100分の2ミリという薄さに加工して、電極や保護膜のないチップの裏面より光を入射させることで、紫外から近赤外の広い波長域で高感度を実現いたしました。

高輝度白色LEDは、省エネや環境意識の高まりもあり、液晶テレビのバックライトやエコ照明などその用途が拡大しており、今後もさらなる需要の拡大が期待されております。



裏面入射型CCD

■ 小型蛍光寿命測定装置 (Quantaurs - Tau)

小型蛍光寿命測定装置 (Quantaurs - Tau) は、蛍光寿命を測定する装置です。蛍光寿命の応用は多岐にわたりますが、代表的なものとして、有機EL素子の開発に欠かせない材料の評価、太陽電池やLED用の化合物半導体の良否判定等があります。

本装置は、励起光源や検出器、光学系などを一体化しBOX型の測定装置としたことで、今まで研究者が測定の際に長い時間と手間をかけていた光源、光学系をはじめとする構成品の選定や調整を必要とせず、簡単操作で、高精度な計測を実現いたしました。



小型蛍光寿命測定装置

ハママツ・ホトニクス・ユー・ケイ・リミテッド



ハママツ・ホトニクス・ノルデン・エイ・ビー



ホトニクス・マネージメント・コーポ

ユニバーサル・スペクトラム・コーポレーション

ハママツ・ホトニクス・ヨーロッパ・ゲー・エム・ペー・ハー

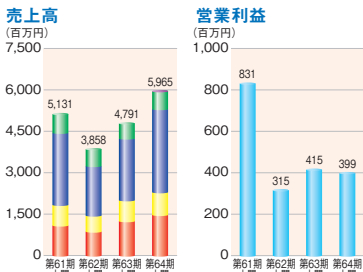
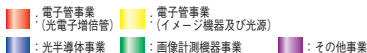
浜松ホトニクス株式会社

ハママツ・ホトニクス・イタリア・エス・アール・エル

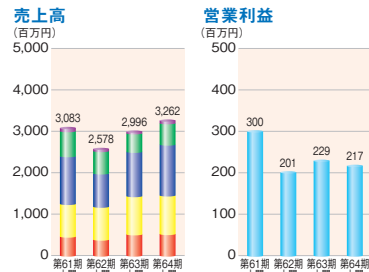
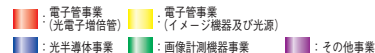
北京浜松光子技術股份有限公司



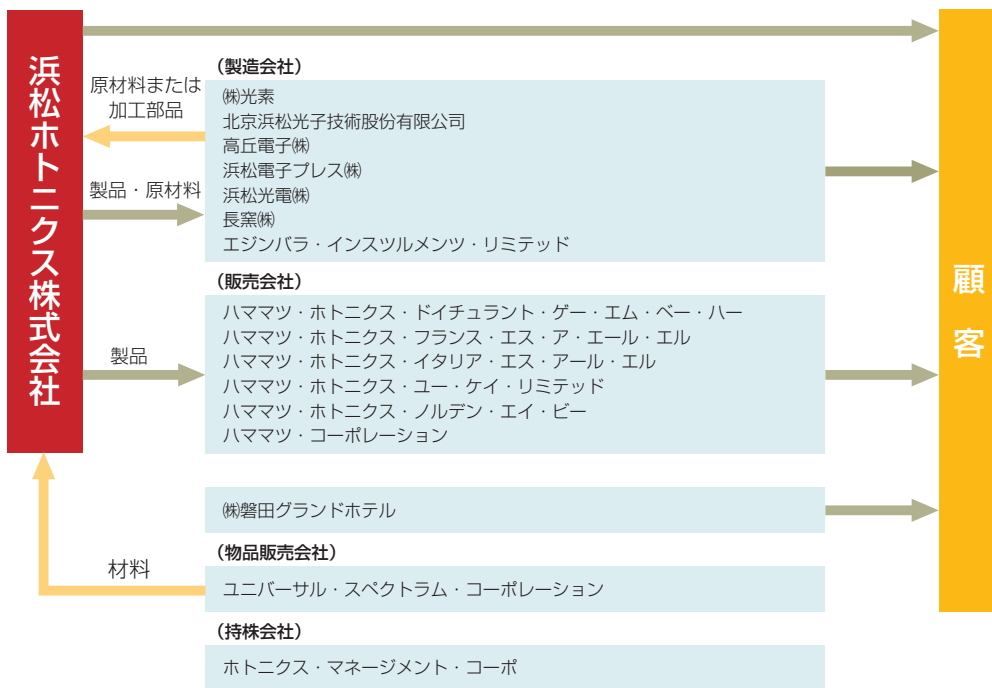
ハママツ・ホトニクス・ドイチュラント・ゲー・エム・ペー・ハー



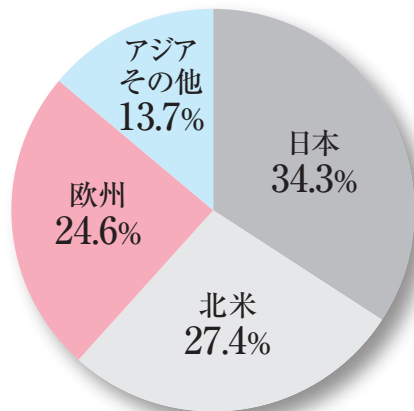
ハママツ・ホトニクス・フランス・エス・ア・エール・エル



■ 主要製造・販売会社等

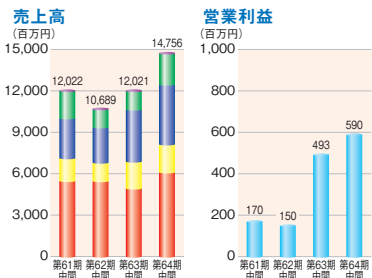


[地域別(顧客所在地別)売上高比率]



ハママツ・
コーポレーション

■ 電子管事業 (光電子増倍管)
 ■ 電子管事業 (イメージ機器及び光源)
 ■ 光半導体事業
 ■ 画像計測機器事業
 ■ その他事業



当期より、事業区分を電子管事業、光半導体事業及び画像計測機器事業の3つに区分したため、前中間期以前の数値につきましても、新しい区分に組替えて記載しております。

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科 目 | 期 別 | 当中間期 (平成23年3月31日現在) | 前中間期 (平成22年3月31日現在) | 前 期 (平成22年9月30日現在) |
|-------------------------|-----|------------------------|------------------------|-----------------------|
| 資 産 の 部 | | | | |
| 流 動 資 産 | | 115,942 | 100,383 | 111,270 |
| 固 定 資 産 | | 64,730 | 67,404 | 65,136 |
| 有 形 固 定 資 産 | | 53,104 | 52,692 | 53,453 |
| 無 形 固 定 資 産 | | 786 | 635 | 715 |
| 投 資 そ の 他 の 資 産 | | 10,839 | 14,077 | 10,967 |
| 資 産 合 計 | | 180,672 | 167,787 | 176,407 |
| 負 債 の 部 | | | | |
| 流 動 負 債 | | 27,969 | 31,442 | 29,952 |
| 固 定 負 債 | | 23,012 | 15,472 | 21,972 |
| 負 債 合 計 | | 50,982 | 46,915 | 51,925 |
| 純 資 産 の 部 | | | | |
| 株 主 資 本 | | 133,463 | 123,139 | 128,296 |
| 資 本 金 | | 34,928 | 34,928 | 34,928 |
| 資 本 剰 余 金 | | 34,672 | 34,672 | 34,672 |
| 利 益 剰 余 金 | | 69,909 | 59,585 | 64,743 |
| 自 己 株 式 | △ | 6,047 | △ 6,047 | △ 6,047 |
| 評 価 ・ 換 算 差 額 等 | △ | 4,518 | △ 3,010 | △ 4,556 |
| そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 | | 205 | 336 | 43 |
| 為 替 換 算 調 整 勘 定 | △ | 4,724 | △ 3,346 | △ 4,599 |
| 少 数 株 主 持 分 | | 746 | 743 | 740 |
| 純 資 産 合 計 | | 129,690 | 120,872 | 124,481 |
| 負 債 純 資 産 合 計 | | 180,672 | 167,787 | 176,407 |

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 期 別 | 当中間期 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日) | 前中間期 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日) | 前 期 (自 平成21年10月1日 至 平成22年9月30日) |
|-------------------------------------|-----|--|--|---------------------------------------|
| 売 上 高 | | 51,545 | 43,524 | 90,958 |
| 売 上 原 価 | | 25,549 | 22,505 | 45,590 |
| 売 上 総 利 益 | | 25,995 | 21,018 | 45,368 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 | | 14,890 | 14,335 | 29,617 |
| 営 業 利 益 | | 11,105 | 6,682 | 15,751 |
| 営 業 外 収 益 | | 594 | 438 | 850 |
| 営 業 外 費 用 | | 127 | 264 | 542 |
| 経 常 利 益 | | 11,572 | 6,857 | 16,059 |
| 特 別 利 益 | | 165 | 156 | 558 |
| 特 別 損 失 | | 591 | 40 | 472 |
| 税 金 等 調 整 前 中 間 (当 期) 純 利 益 | | 11,146 | 6,973 | 16,145 |
| 法 人 税 等 | | 4,179 | 2,043 | 4,599 |
| 少 数 株 主 損 益 調 整 前 中 間 (当 期) 純 利 益 | | 6,967 | 4,930 | 11,545 |
| 少 数 株 主 利 益 | | 29 | 46 | 54 |
| 中 間 (当 期) 純 利 益 | | 6,938 | 4,883 | 11,491 |

資産の部

有価証券は減少しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加した結果、資産合計は前期末と比較して42億円増加しております。

負債の部

長期借入金は増加しましたが、未払法人税等及び短期借入金などが減少した結果、負債合計は前期末と比較して9億円減少しております。

純資産の部

利益剰余金が増加した結果、純資産合計は前期末と比較して52億円増加しております。なお、自己資本比率は前期末の70.1%から71.4%と1.3ポイント増加しております。

● 会社の概況

設立 昭和28年9月29日
 資本金 34,928百万円
 従業員数 2,834名
 主要営業品目 光電子増倍管、イメージ機器、光源、
 半導体素子、画像処理・計測装置

役員

| | |
|------------|-------|
| 取締役会長 | 書馬輝夫 |
| 代表取締役社長 | 書馬光明 |
| 代表取締役副社長 | 大山塚治司 |
| 代表取締役専務取締役 | 山本永一 |
| 常務取締役 | 竹内純一 |
| 常務取締役 | 飯田一等 |
| 取締役 | 小池隆司 |
| 取締役 | 小吹信三 |
| 取締役 | 嶋津忠彦 |
| 取締役 | 鈴木賢次 |
| 取締役 | 武村光隆 |
| 取締役 | 原堅司 |
| 取締役 | 吉田憲夫 |
| 常勤監査役 | 松井昌文 |
| 常勤監査役 | 村松文夫 |
| 監査役 | 柴谷元彦 |
| 監査役 | 伊地知隆彦 |

国内拠点

| | | |
|---------|---|------------------|
| 本社事務所 | 〒430-8587 静岡県浜松市中区砂山町325番地の6 日本生命浜松駅前ビル | ☎ (053) 452-2141 |
| 本社工場 | 〒435-8558 静岡県浜松市東区市野町1126番地の1 | ☎ (053) 434-3311 |
| 三 家 工 場 | 〒438-0127 静岡県磐田市三家768番地の8 | ☎ (0539) 63-5810 |
| 豊岡製作所 | 〒438-0193 静岡県磐田市下神増314番地の5 | ☎ (0539) 62-3151 |
| 天王製作所 | 〒435-0052 静岡県浜松市東区天王町1705番地 | ☎ (053) 421-7126 |
| 常光製作所 | 〒431-3196 静岡県浜松市東区常光町812番地 | ☎ (053) 435-1560 |
| 都田製作所 | 〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田一丁目8番3号 | ☎ (053) 484-1300 |
| 東京支店 | 〒105-0001 東京都港区虎ノ門三丁目8番21号 虎ノ門33森ビル5階 | ☎ (03) 3436-0491 |
| 東京営業所 | 〒105-0001 東京都港区虎ノ門三丁目8番21号 虎ノ門33森ビル5階 | ☎ (03) 3436-0491 |
| 中部営業所 | 〒430-8587 静岡県浜松市中区砂山町325番地の6 日本生命浜松駅前ビル | ☎ (053) 459-1112 |
| 大阪営業所 | 〒541-0052 大阪府中央区安土町二丁目3番13号 大阪国際ビルディング10階 | ☎ (06) 6271-0441 |
| 筑波営業所 | 〒300-2635 茨城県つくば市東光台五丁目9番2号 | ☎ (029) 847-3821 |
| 仙台営業所 | 〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉一丁目6番11号 日本生命仙台台勾当ビル2階 | ☎ (022) 267-0121 |
| 中央研究所 | 〒434-8601 静岡県浜松市浜北区平口5000番地 | ☎ (053) 586-7111 |
| 筑波研究所 | 〒300-2635 茨城県つくば市東光台五丁目9番2号 | ☎ (029) 847-5161 |
| 産業開発研究所 | 〒431-1202 静岡県浜松市西区呉松町1820番地 | ☎ (053) 487-5100 |

● 株式事項

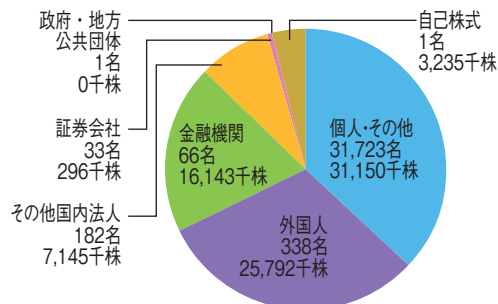
■発行済株式総数 83,764,984株

■株主数 32,344名

| 大株主 | 株式数 |
|--------------------------------------|------------|
| トヨタ自動車株式会社 | 4,200,000株 |
| 浜松ホトニクス従業員持株会 | 3,955,152株 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 3,110,700株 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 2,989,500株 |
| 書馬輝夫 | 1,974,842株 |
| ビービーエイチ マシユズ アジアン グロース アンド インカム ファンド | 1,664,700株 |
| オーエム04エスエスピークライアントオムニバス | 1,519,038株 |
| 野村信託銀行株式会社(投信口) | 1,444,700株 |
| ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー | 1,222,179株 |
| メロン バンク トリーティー クライアンツ オムニバス | 1,119,500株 |

(注) 上記のほか、自己株式3,235,673株があります。

■所有者別株式分布状況



■第64期中間配当金

| | |
|-------|-----------|
| 中間配当金 | 1株につき 22円 |
|-------|-----------|

●株主メモ

◇株式に関する各種お手続きのお申出先◇

1. 未払配当金の支払いのお申出先

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

電話 (通話料無料)

0120-78-2031

(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

2. 住所変更、単元未満株式の買取、配当金 受取方法の指定等のお申出先

①証券会社に口座をお持ちの株主様

⇒お取引証券会社等にお申出ください。

②証券会社に口座をお持ちでないため特別口座が開設されました株主様
⇒特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

電話 (通話料無料)

0120-78-2031

(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

事業年度 10月1日から翌年9月30日まで

定時株主総会 毎年12月

基準日 (1) 定時株主総会については9月30日といたします。
(2) その他必要があるときは、あらかじめ公告して一定の日を定めます。

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685
名古屋市中区栄三丁目15番33号
中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部

単元株式数 100株

公告方法 電子公告の方法により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

公告掲載の当社ホームページアドレス
<http://www.hamamatsu.com/ja/ir/index.html>

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、製品情報、製品サポート、展示会情報、研究開発、会社情報、株主・投資家情報などのほか、光に関する様々なコンテンツを提供しております。



ホームページアドレス

<http://jp.hamamatsu.com>

HAMAMATSU

PHOTON IS OUR BUSINESS

